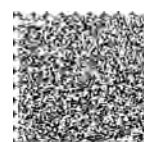


1-11 障害者の権利

まとめ

- 障害者の権利を守るために充実させるべきこととしては、あらゆる差別がなくなることが全体の4割強、自分のことは自分で決められることが3割強。精神障害・難病のかたは、誰にでも平等に機会があることも重視。
- 障害者虐待防止センターは、全体の8割強が知らなかったと回答。難病のかたでは9割以上が知らなかったという結果。
- 虐待された経験は、全体の7割強がない、2割弱があると回答。精神障害のかたは、5割弱があると回答。
- 障害を理由とした差別については、あまり感じない・全く感じないを合わせ、感じないが全体の6割強。精神障害のかたの3割強、障害児の2割強は時々感じると回答。
- 差別を感じる場面としては、公共施設・交通機関の利用時、働きたいとき・働いているときが多いが、聴覚・音声・言語・そしゃく機能の障害のかたなどはコミュニケーションをとりたいときも多い。
- 成年後見制度は、全体では利用する予定はないが4割強と多いが、知的障害のかたの2割強、精神障害のかたの2割弱は利用意向がある、もしくはすでに利用している。
- 選挙には毎回行くかたが全体の5割強。知的障害のかたは行っていないかたが多く、ほとんど行かない・行っていないを合わせると3割強が行っていないと回答。
- 選挙に行かない理由は関心がないが多いが、知的障害のかたは自分で記入することができないが最も大きな理由。



問 今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。(複数回答可)

調査対象：

身体

知的

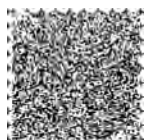
精神

難病

- 全体では、1,835 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.9%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 32.3%となっています。
- 身体障害のかたは、1,161 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.2%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 34.5%となっています。
- 知的障害のかたは、272 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 44.1%と最も多く、次いで「希望する施設やサービスの利用が可能であること」が 26.8%となっています。
- 精神障害のかたは、191 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 48.7%と最も多く、次いで「障害者自身の能力が認められること」が 41.9%となっています。
- 難病のかたは、211 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.1%と最も多く、次いで「誰にでも平等に機会があること」が 37.0%となっています。

		全 体	障害者の権利を守るために必要なこと					
			自分のことは自分で決められること	あらゆる障害に対する差別がなくなること	多様な活動に参加し、社会に受け入れられること	障害の違いを互いに認め合えること	誰にでも平等に機会があること	希望する施設やサービスの利用が可能であること
全 体		件 1835 % 100.0	592 32.3	806 43.9	353 19.2	415 22.6	546 29.8	555 30.2
調 査 票 種 別	身体(計)	件 1161 % 100.0	401 34.5	502 43.2	209 18.0	251 21.6	344 29.6	370 31.9
		件 90 % 100.0	41 45.6	42 46.7	22 24.4	14 15.6	26 28.9	30 33.3
	視覚障害	件 93 % 100.0	27 29.0	48 51.6	20 21.5	22 23.7	28 30.1	33 35.5
		聴覚障害	件 21 % 100.0	8 38.1	6 28.6	1 4.8	4 19.0	4 19.0
	平衡機能障害		件 19 % 100.0	5 26.3	8 42.1	- -	7 36.8	6 31.6
		音声・言語・しゃく機能の障害	件 484 % 100.0	161 33.3	220 45.5	98 20.2	100 20.7	139 28.7
	肢体不自由		件 324 % 100.0	128 39.5	142 43.8	52 16.0	89 27.5	122 37.7
		内部障害	件 272 % 100.0	72 26.5	120 44.1	54 19.9	63 23.2	55 20.2
	知的		件 191 % 100.0	59 30.9	93 48.7	43 22.5	40 20.9	69 36.1
		精神	件 211 % 100.0	60 28.4	91 43.1	47 22.3	61 28.9	78 37.0
	難病							

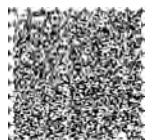
【次ページへ続く】



【前ページから続く】

		全 体	障害者の権利を守るために必要なこと			
			障害者の性別にかかわらず、平等であること	障害者自身の能力が認められること	その他	不明・無回答
全 体		件 1835	206	411	37	253
		% 100.0	11.2	22.4	2.0	13.8
調 査 票 種 別	身体(計)	件 1161	132	231	22	156
		% 100.0	11.4	19.9	1.9	13.4
	視覚障害	件 90	5	21	4	9
		% 100.0	5.6	23.3	4.4	10.0
	聴覚障害	件 93	13	20	4	6
		% 100.0	14.0	21.5	4.3	6.5
	平衡機能障害	件 21	4	2	-	4
		% 100.0	19.0	9.5	-	19.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件 19	4	2	1	4
		% 100.0	21.1	10.5	5.3	21.1
	肢体不自由	件 484	51	112	6	52
		% 100.0	10.5	23.1	1.2	10.7
	内部障害	件 324	42	62	4	28
		% 100.0	13.0	19.1	1.2	8.6
	知的	件 272	21	54	4	63
		% 100.0	7.7	19.9	1.5	23.2
	精神	件 191	29	80	8	15
		% 100.0	15.2	41.9	4.2	7.9
	難病	件 211	24	46	3	19
		% 100.0	11.4	21.8	1.4	9.0

※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。



問 豊島区は、障害者虐待に関する通報や相談の窓口として、豊島区障害者虐待防止センターを設置しています。あなたは、障害者虐待防止センターを知っていますか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

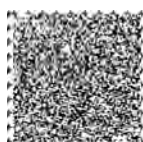
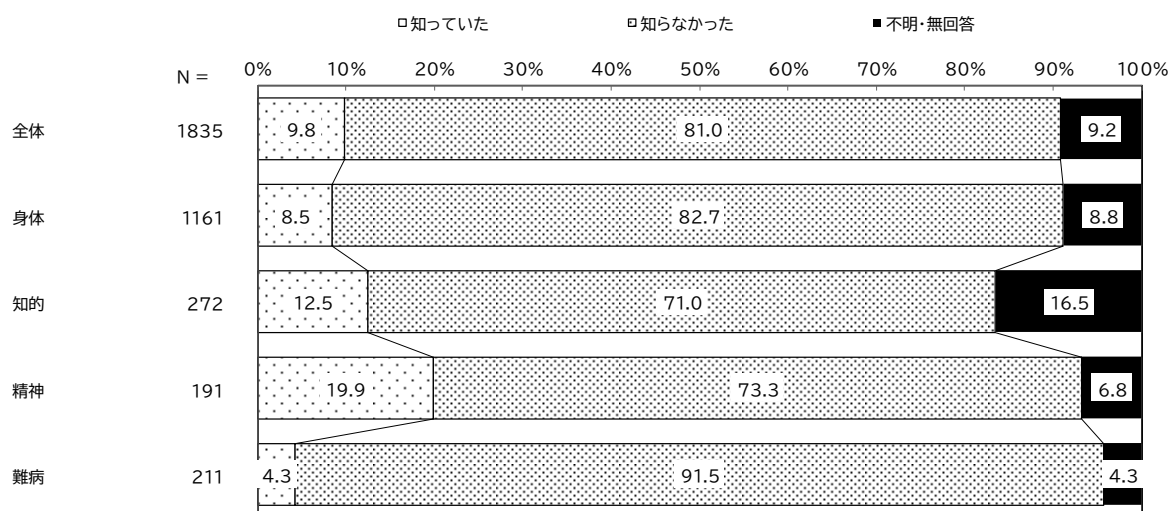
○全体では、1,835 件のうち、「知らなかった」が 81.0%、「知っていた」が 9.8%となっています。

○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「知らなかった」が 82.7%、「知っていた」が 8.5%となっています。

○知的障害のかたは、272 件のうち、「知らなかった」が 71.0%、「知っていた」が 12.5%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「知らなかった」が 73.3%、「知っていた」が 19.9%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「知らなかった」が 91.5%、「知っていた」が 4.3%となっています。



問 あなたは、いままでに自分の体や心を繰り返し傷つけられた（虐待された）ことがありますか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

○全体では、1,835 件のうち、「ない」が 71.9%、「ある」が 17.7%となっています。

○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「ない」が 76.7%、「ある」が 12.8%となっています。

○知的障害のかたは、272 件のうち、「ない」が 63.2%、「ある」が 19.9%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「ある」が 48.7%、「ない」が 44.0%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「ない」が 82.0%、「ある」が 13.3%となっています。

		全 体	虐待された経験		
			ある	ない	不明・無回答
全 体		件 1835	324	1320	191
		% 100.0	17.7	71.9	10.4
調 査 票 種 別	身体(計)	件 1161	149	891	121
		% 100.0	12.8	76.7	10.4
	視覚障害	件 90	13	72	5
		% 100.0	14.4	80.0	5.6
	聴覚障害	件 93	15	70	8
		% 100.0	16.1	75.3	8.6
	平衡機能障害	件 21	2	17	2
		% 100.0	9.5	81.0	9.5
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件 19	2	15	2
		% 100.0	10.5	78.9	10.5
	肢体不自由	件 484	74	376	34
		% 100.0	15.3	77.7	7.0
	内部障害	件 324	35	272	17
		% 100.0	10.8	84.0	5.2
知的		件 272	54	172	46
		% 100.0	19.9	63.2	16.9
精神		件 191	93	84	14
		% 100.0	48.7	44.0	7.3
難病		件 211	28	173	10
		% 100.0	13.3	82.0	4.7



問 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行されましたが、あなたは障害を理由とした自身への差別を感じることはありますか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

児童

○全体では、2,140 件のうち、「あまり感じない」が 42.7%と最も多く、次いで「全く感じない」が 20.5%となっています。

○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「あまり感じない」が 42.4%と最も多く、次いで「全く感じない」が 22.7%となっています。

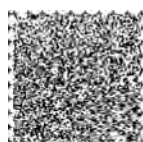
○知的障害のかたは、272 件のうち、「あまり感じない」が 36.8%と最も多く、次いで「時々感じる」が 16.9%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「あまり感じない」が 38.2%と最も多く、次いで「時々感じる」が 32.5%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「全く感じない」が 44.5%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 39.3%となっています。

○障害児は、305 件のうち、「あまり感じない」が 54.1%と最も多く、次いで「時々感じる」が 23.3%となっています。

		全 体	障害を理由とした自身への差別				
			よく感じる	時々感じる	あまり感じない	全く感じない	不明・無回答
全 体		件 2140	151	413	913	439	224
		% 100.0	7.1	19.3	42.7	20.5	10.5
調 査 票 種 別	身体(計)	件 1161	69	216	492	263	121
		% 100.0	5.9	18.6	42.4	22.7	10.4
	視覚障害	件 90	6	24	37	18	5
		% 100.0	6.7	26.7	41.1	20.0	5.6
	聴覚障害	件 93	9	27	42	11	4
		% 100.0	9.7	29.0	45.2	11.8	4.3
	平衡機能障害	件 21	1	3	11	5	1
		% 100.0	4.8	14.3	52.4	23.8	4.8
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件 19	2	2	7	6	2
		% 100.0	10.5	10.5	36.8	31.6	10.5
	肢体不自由	件 484	38	109	215	86	36
		% 100.0	7.9	22.5	44.4	17.8	7.4
	内部障害	件 324	14	36	142	111	21
		% 100.0	4.3	11.1	43.8	34.3	6.5
	知的	件 272	28	46	100	43	55
		% 100.0	10.3	16.9	36.8	15.8	20.2
	精神	件 191	22	62	73	19	15
		% 100.0	11.5	32.5	38.2	9.9	7.9
	難病	件 211	4	18	83	94	12
		% 100.0	1.9	8.5	39.3	44.5	5.7
	障害児	件 305	28	71	165	20	21
		% 100.0	9.2	23.3	54.1	6.6	6.9



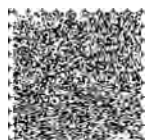
—経年変化—

		全 体		障害を理由とした自身への差別						
				よく感じる			時々感じる			
		令和元年度	令和4年度	令和元年度	令和4年度	前回比	令和元年度	令和4年度	前回比	
全 体		件 %	1,638 100.0	2140 100.0	131 8.0	151 7.1	-11.2%	409 25.0	413 19.3	-22.7%
調 査 票 種 別	身体(計)	件 %	850 100.0	1161 100.0	65 7.6	69 5.9	-22.8%	214 25.2	216 18.6	-26.1%
		視覚障害	件 %	61 100.0	90 100.0	10 16.4	6 6.7	-59.1%	20 32.8	24 26.7
	聴覚障害	件 %	67 100.0	93 100.0	5 7.5	9 9.7	30.0%	25 37.3	27 29.0	-22.3%
		平衡機能障害	件 %	13 100.0	21 100.0	1 7.7	1 4.8	-37.6%	3 23.1	3 14.3
	音声・言語・そ しゃく機能の障害	件 %	22 100.0	19 100.0	2 9.1	2 10.5	15.5%	5 22.7	2 10.5	-53.8%
		肢体不自由	件 %	374 100.0	484 100.0	31 8.3	38 7.9	-4.7%	105 28.1	109 22.5
	内部障害	件 %	269 100.0	324 100.0	13 4.8	14 4.3	-11.0%	50 18.6	36 11.1	-40.3%
		知的	件 %	236 100.0	272 100.0	17 7.2	28 10.3	43.0%	61 25.8	46 16.9
	精神	件 %	183 100.0	191 100.0	28 15.3	22 11.5	-24.8%	50 27.3	62 32.5	19.0%
		難病	件 %	369 100.0	211 100.0	21 5.7	4 1.9	-66.6%	84 22.8	18 8.5
	障害児	件 %		305 100.0		28 9.2			71 23.3	

【下表へ続く】

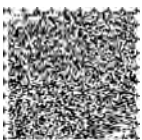
		全 体		障害を理由とした自身への差別						
				あまり感じない			全く感じない			
全 体		件	1,638	2140	755	913	-7.4%	198	439	
		%	100.0	100.0	46.1	42.7		12.1	20.5	69.6%
調 査 票 種 別	身体(計)	件 <td>850<td>1161<td>402<td>492<td>-10.3%<td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td></td></td></td></td></td>	850 <td>1161<td>402<td>492<td>-10.3%<td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td></td></td></td></td>	1161 <td>402<td>492<td>-10.3%<td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td></td></td></td>	402 <td>492<td>-10.3%<td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td></td></td>	492 <td>-10.3%<td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td></td>	-10.3% <td>100<td>263<td>93.0%</td></td></td>	100 <td>263<td>93.0%</td></td>	263 <td>93.0%</td>	93.0%
		% <td>100.0<td>100.0<td>47.3<td>42.4<td><td>11.8<td>22.7<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>47.3<td>42.4<td><td>11.8<td>22.7<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>47.3<td>42.4<td><td>11.8<td>22.7<td></td></td></td></td></td></td>	47.3 <td>42.4<td><td>11.8<td>22.7<td></td></td></td></td></td>	42.4 <td><td>11.8<td>22.7<td></td></td></td></td>	<td>11.8<td>22.7<td></td></td></td>	11.8 <td>22.7<td></td></td>	22.7 <td></td>	
	視覚障害	件 <td>61<td>90<td>24<td>37<td>4.5%<td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td></td></td></td></td></td>	61 <td>90<td>24<td>37<td>4.5%<td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td></td></td></td></td>	90 <td>24<td>37<td>4.5%<td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td></td></td></td>	24 <td>37<td>4.5%<td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td></td></td>	37 <td>4.5%<td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td></td>	4.5% <td>5<td>18<td>144.0%</td></td></td>	5 <td>18<td>144.0%</td></td>	18 <td>144.0%</td>	144.0%
		% <td>100.0<td>100.0<td>39.3<td>41.1<td><td>8.2<td>20.0<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>39.3<td>41.1<td><td>8.2<td>20.0<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>39.3<td>41.1<td><td>8.2<td>20.0<td></td></td></td></td></td></td>	39.3 <td>41.1<td><td>8.2<td>20.0<td></td></td></td></td></td>	41.1 <td><td>8.2<td>20.0<td></td></td></td></td>	<td>8.2<td>20.0<td></td></td></td>	8.2 <td>20.0<td></td></td>	20.0 <td></td>	
	聴覚障害	件 <td>67<td>93<td>23<td>42<td>31.7%<td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td></td></td></td></td></td>	67 <td>93<td>23<td>42<td>31.7%<td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td></td></td></td></td>	93 <td>23<td>42<td>31.7%<td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td></td></td></td>	23 <td>42<td>31.7%<td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td></td></td>	42 <td>31.7%<td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td></td>	31.7% <td>4<td>11<td>97.7%</td></td></td>	4 <td>11<td>97.7%</td></td>	11 <td>97.7%</td>	97.7%
		% <td>100.0<td>100.0<td>34.3<td>45.2<td><td>6.0<td>11.8<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>34.3<td>45.2<td><td>6.0<td>11.8<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>34.3<td>45.2<td><td>6.0<td>11.8<td></td></td></td></td></td></td>	34.3 <td>45.2<td><td>6.0<td>11.8<td></td></td></td></td></td>	45.2 <td><td>6.0<td>11.8<td></td></td></td></td>	<td>6.0<td>11.8<td></td></td></td>	6.0 <td>11.8<td></td></td>	11.8 <td></td>	
	平衡機能障害	件 <td>13<td>21<td>5<td>11<td>36.2%<td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td></td></td></td></td></td>	13 <td>21<td>5<td>11<td>36.2%<td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td></td></td></td></td>	21 <td>5<td>11<td>36.2%<td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td></td></td></td>	5 <td>11<td>36.2%<td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td></td></td>	11 <td>36.2%<td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td></td>	36.2% <td>2<td>5<td>54.7%</td></td></td>	2 <td>5<td>54.7%</td></td>	5 <td>54.7%</td>	54.7%
		% <td>100.0<td>100.0<td>38.5<td>52.4<td><td>15.4<td>23.8<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>38.5<td>52.4<td><td>15.4<td>23.8<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>38.5<td>52.4<td><td>15.4<td>23.8<td></td></td></td></td></td></td>	38.5 <td>52.4<td><td>15.4<td>23.8<td></td></td></td></td></td>	52.4 <td><td>15.4<td>23.8<td></td></td></td></td>	<td>15.4<td>23.8<td></td></td></td>	15.4 <td>23.8<td></td></td>	23.8 <td></td>	
	音声・言語・そ しゃく機能の障害	件 <td>22<td>19<td>10<td>7<td>-19.0%<td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td></td></td></td></td></td>	22 <td>19<td>10<td>7<td>-19.0%<td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td></td></td></td></td>	19 <td>10<td>7<td>-19.0%<td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td></td></td></td>	10 <td>7<td>-19.0%<td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td></td></td>	7 <td>-19.0%<td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td></td>	-19.0% <td>3<td>6<td>131.7%</td></td></td>	3 <td>6<td>131.7%</td></td>	6 <td>131.7%</td>	131.7%
		% <td>100.0<td>100.0<td>45.5<td>36.8<td><td>13.6<td>31.6<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>45.5<td>36.8<td><td>13.6<td>31.6<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>45.5<td>36.8<td><td>13.6<td>31.6<td></td></td></td></td></td></td>	45.5 <td>36.8<td><td>13.6<td>31.6<td></td></td></td></td></td>	36.8 <td><td>13.6<td>31.6<td></td></td></td></td>	<td>13.6<td>31.6<td></td></td></td>	13.6 <td>31.6<td></td></td>	31.6 <td></td>	
	肢体不自由	件 <td>374<td>484<td>172<td>215<td>-3.5%<td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td></td></td></td></td></td>	374 <td>484<td>172<td>215<td>-3.5%<td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td></td></td></td></td>	484 <td>172<td>215<td>-3.5%<td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td></td></td></td>	172 <td>215<td>-3.5%<td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td></td></td>	215 <td>-3.5%<td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td></td>	-3.5% <td>41<td>86<td>62.4%</td></td></td>	41 <td>86<td>62.4%</td></td>	86 <td>62.4%</td>	62.4%
		% <td>100.0<td>100.0<td>46.0<td>44.4<td><td>11.0<td>17.8<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>46.0<td>44.4<td><td>11.0<td>17.8<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>46.0<td>44.4<td><td>11.0<td>17.8<td></td></td></td></td></td></td>	46.0 <td>44.4<td><td>11.0<td>17.8<td></td></td></td></td></td>	44.4 <td><td>11.0<td>17.8<td></td></td></td></td>	<td>11.0<td>17.8<td></td></td></td>	11.0 <td>17.8<td></td></td>	17.8 <td></td>	
	内部障害	件 <td>269<td>324<td>149<td>142<td>-20.9%<td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td></td></td></td></td></td>	269 <td>324<td>149<td>142<td>-20.9%<td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td></td></td></td></td>	324 <td>149<td>142<td>-20.9%<td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td></td></td></td>	149 <td>142<td>-20.9%<td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td></td></td>	142 <td>-20.9%<td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td></td>	-20.9% <td>42<td>111<td>119.7%</td></td></td>	42 <td>111<td>119.7%</td></td>	111 <td>119.7%</td>	119.7%
		% <td>100.0<td>100.0<td>55.4<td>43.8<td><td>15.6<td>34.3<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>55.4<td>43.8<td><td>15.6<td>34.3<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>55.4<td>43.8<td><td>15.6<td>34.3<td></td></td></td></td></td></td>	55.4 <td>43.8<td><td>15.6<td>34.3<td></td></td></td></td></td>	43.8 <td><td>15.6<td>34.3<td></td></td></td></td>	<td>15.6<td>34.3<td></td></td></td>	15.6 <td>34.3<td></td></td>	34.3 <td></td>	
知的	件 <td>236<td>272<td>106<td>100<td>-18.1%<td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td></td></td></td></td></td>	236 <td>272<td>106<td>100<td>-18.1%<td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td></td></td></td></td>	272 <td>106<td>100<td>-18.1%<td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td></td></td></td>	106 <td>100<td>-18.1%<td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td></td></td>	100 <td>-18.1%<td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td></td>	-18.1% <td>21<td>43<td>77.6%</td></td></td>	21 <td>43<td>77.6%</td></td>	43 <td>77.6%</td>	77.6%	
	% <td>100.0<td>100.0<td>44.9<td>36.8<td><td>8.9<td>15.8<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>44.9<td>36.8<td><td>8.9<td>15.8<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>44.9<td>36.8<td><td>8.9<td>15.8<td></td></td></td></td></td></td>	44.9 <td>36.8<td><td>8.9<td>15.8<td></td></td></td></td></td>	36.8 <td><td>8.9<td>15.8<td></td></td></td></td>	<td>8.9<td>15.8<td></td></td></td>	8.9 <td>15.8<td></td></td>	15.8 <td></td>		
精神	件 <td>183<td>191<td>70<td>73<td>-0.1%<td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td></td></td></td></td></td>	183 <td>191<td>70<td>73<td>-0.1%<td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td></td></td></td></td>	191 <td>70<td>73<td>-0.1%<td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td></td></td></td>	70 <td>73<td>-0.1%<td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td></td></td>	73 <td>-0.1%<td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td></td>	-0.1% <td>22<td>19<td>-17.7%</td></td></td>	22 <td>19<td>-17.7%</td></td>	19 <td>-17.7%</td>	-17.7%	
	% <td>100.0<td>100.0<td>38.3<td>38.2<td><td>12.0<td>9.9<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>38.3<td>38.2<td><td>12.0<td>9.9<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>38.3<td>38.2<td><td>12.0<td>9.9<td></td></td></td></td></td></td>	38.3 <td>38.2<td><td>12.0<td>9.9<td></td></td></td></td></td>	38.2 <td><td>12.0<td>9.9<td></td></td></td></td>	<td>12.0<td>9.9<td></td></td></td>	12.0 <td>9.9<td></td></td>	9.9 <td></td>		
難病	件 <td>369<td>211<td>177<td>83<td>-18.1%<td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td></td></td></td></td></td>	369 <td>211<td>177<td>83<td>-18.1%<td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td></td></td></td></td>	211 <td>177<td>83<td>-18.1%<td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td></td></td></td>	177 <td>83<td>-18.1%<td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td></td></td>	83 <td>-18.1%<td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td></td>	-18.1% <td>55<td>94<td>198.6%</td></td></td>	55 <td>94<td>198.6%</td></td>	94 <td>198.6%</td>	198.6%	
	% <td>100.0<td>100.0<td>48.0<td>39.3<td><td>14.9<td>44.5<td></td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>100.0<td>48.0<td>39.3<td><td>14.9<td>44.5<td></td></td></td></td></td></td></td>	100.0 <td>48.0<td>39.3<td><td>14.9<td>44.5<td></td></td></td></td></td></td>	48.0 <td>39.3<td><td>14.9<td>44.5<td></td></td></td></td></td>	39.3 <td><td>14.9<td>44.5<td></td></td></td></td>	<td>14.9<td>44.5<td></td></td></td>	14.9 <td>44.5<td></td></td>	44.5 <td></td>		
障害児	件		305		165			20		
	%		100.0		54.1			6.6		

【次ページへ続く】



【前ページから続く】

		全 体		障害を理由とした自身への差別		
				不明・無回答		
		令和元年度	令和4年度	令和元年度	令和4年度	前回比
全 体		件 1,638 100.0	2140 100.0	145 8.9	224 10.5	18.6%
調 査 票 種 別	身体(計)	件 850 100.0	1161 100.0	69 8.1	121 10.4	28.1%
	視覚障害	件 61 100.0	90 100.0	2 3.3	5 5.6	70.8%
	聴覚障害	件 67 100.0	93 100.0	10 14.9	4 4.3	-71.2%
	平衡機能障害	件 13 100.0	21 100.0	2 15.4	1 4.8	-68.8%
	音声・言語・そ しゃく機能の障害	件 22 100.0	19 100.0	2 9.1	2 10.5	15.5%
	肢体不自由	件 374 100.0	484 100.0	25 6.7	36 7.4	10.7%
	内部障害	件 269 100.0	324 100.0	15 5.6	21 6.5	16.6%
	知的	件 236 100.0	272 100.0	31 13.1	55 20.2	53.8%
	精神	件 183 100.0	191 100.0	13 7.1	15 7.9	11.2%
	難病	件 369 100.0	211 100.0	32 8.7	12 5.7	-34.3%
	障害児	件 /	305 100.0	/	21 6.9	/



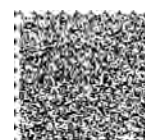
問 どのようなときに差別を感じますか。(複数回答可)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

- 全体では、465 件のうち、「公共施設や交通機関を利用するとき」が 49.7%と最も多く、次いで「働きたいとき、働いているとき」が 41.1%となっています。
- 身体障害のかたは、285 件のうち、「公共施設や交通機関を利用するとき」が 54.7%と最も多く、次いで「働きたいとき、働いているとき」が 39.6%となっています。
- 知的障害のかたは、74 件のうち、「公共施設や交通機関を利用するとき」が 55.4%と最も多く、次いで「働きたいとき、働いているとき」が 33.8%となっています。
- 精神障害のかたは、84 件のうち、「働きたいとき、働いているとき」が 46.4%と最も多く、次いで「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」が 34.5%となっています。
- 難病のかたは、22 件のうち、「働きたいとき、働いているとき」が 63.6%と最も多く、次いで「公共施設や交通機関を利用するとき」が 31.8%となっています。

			全 体	差別を感じる場面					
				公共施設や交通機関を利用するとき	情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき	物を売買するとき	病院で医療を受けるとき	働きたいとき、働いているとき	住宅の賃貸契約を行うとき
全 体			件 465	231	122	43	86	191	69
			% 100.0	49.7	26.2	9.2	18.5	41.1	14.8
調 査 票 種 別	身体(計)	件 285	156	70	25	54	113	45	
		% 100.0	54.7	24.6	8.8	18.9	39.6	15.8	
	視覚障害	件 30	18	11	5	4	11	4	
		% 100.0	60.0	36.7	16.7	13.3	36.7	13.3	
	聴覚障害	件 36	13	18	4	11	14	6	
		% 100.0	36.1	50.0	11.1	30.6	38.9	16.7	
	平衡機能障害	件 4	3	2	1	-	-	1	
		% 100.0	75.0	50.0	25.0	-	-	25.0	
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件 4	3	3	-	2	-	-	
		% 100.0	75.0	75.0	-	50.0	-	-	
	肢体不自由	件 147	90	26	9	22	57	25	
		% 100.0	61.2	17.7	6.1	15.0	38.8	17.0	
	内部障害	件 50	24	7	2	10	21	4	
		% 100.0	48.0	14.0	4.0	20.0	42.0	8.0	
	知的	件 74	41	21	14	14	25	4	
		% 100.0	55.4	28.4	18.9	18.9	33.8	5.4	
	精神	件 84	27	29	3	16	39	16	
		% 100.0	32.1	34.5	3.6	19.0	46.4	19.0	
	難病	件 22	7	2	1	2	14	4	
		% 100.0	31.8	9.1	4.5	9.1	63.6	18.2	

【次ページへ続く】



【前ページから続く】

		全 体	差別を感じる場面	
			その他	不明・無回答
全 体		件 465 %	37 8.0	15 3.2
調 査 票 種 別	身体(計)	件 285 %	19 6.7	7 2.5
		視覚障害	件 30 %	2 6.7
	聴覚障害	件 36 %	- -	- -
		平衡機能障害	件 4 %	- -
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件 4 %	- -	- -
		肢体不自由	件 147 %	10 6.8
	内部障害	件 50 %	4 8.0	- -
		知的	件 74 %	4 5.4
	精神	件 84 %	12 14.3	4 4.8
		難病	件 22 %	2 9.1

※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は100%を超える値となります。

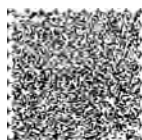
問 具体的にあればご記入ください。

調査対象：

児童

○具体的に差別を感じる場面としては、下記のような回答がありました。

- ・外出先で心無い言葉を浴びせられたり、嫌な顔をされたりする。
- ・ジロジロ見られる。
- ・保育園・幼稚園・小学校や学童保育など、障害があることによって入園・入学を拒否されたり、短時間での利用しかできなくなったりする。利用していた保育園の一時保育サービスも、愛の手帳を取得したことを伝えた途端に利用ができなくなった。
- ・アミューズメント施設や美容院、タクシーなど、健常者が当たり前に利用できる場所でも立ち入ることを拒まれる。
- ・障害の程度が重くなっていくほどに、余暇活動の場や習い事、就労先などの選択肢が少なくなり、チャレンジの場がなくなっていく。



問 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

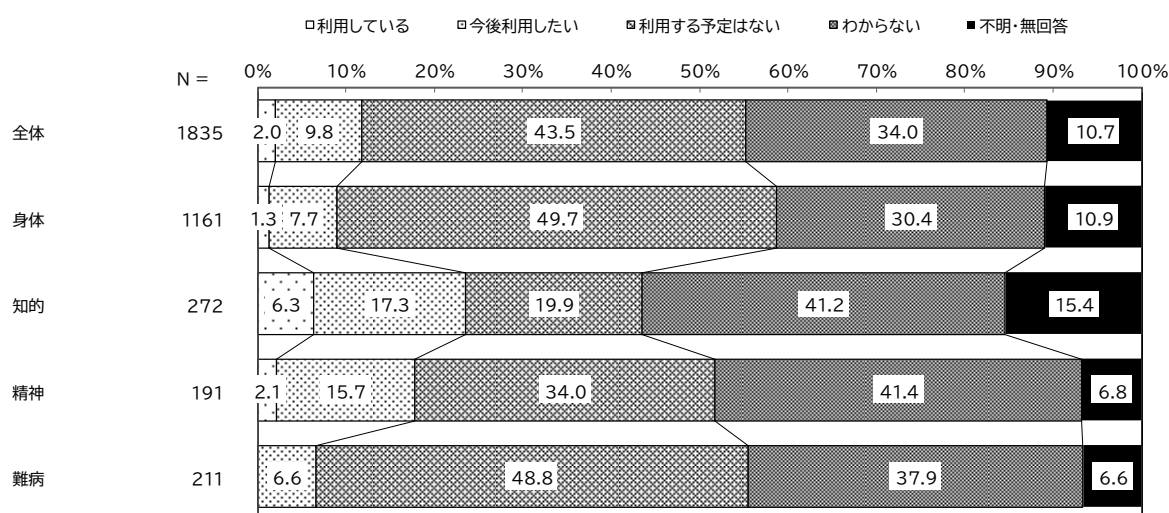
○全体では、1,835 件のうち、「利用する予定はない」が 43.5%と最も多く、次いで「わからない」が 34.0%となっています。

○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「利用する予定はない」が 49.7%と最も多く、次いで「わからない」が 30.4%となっています。

○知的障害のかたは、272 件のうち、「わからない」が 41.2%と最も多く、次いで「利用する予定はない」が 19.9%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「わからない」が 41.4%と最も多く、次いで「利用する予定はない」が 34.0%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「利用する予定はない」が 48.8%と最も多く、次いで「わからない」が 37.9%となっています。



問 あなたは、選挙に行っていますか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

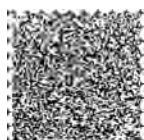
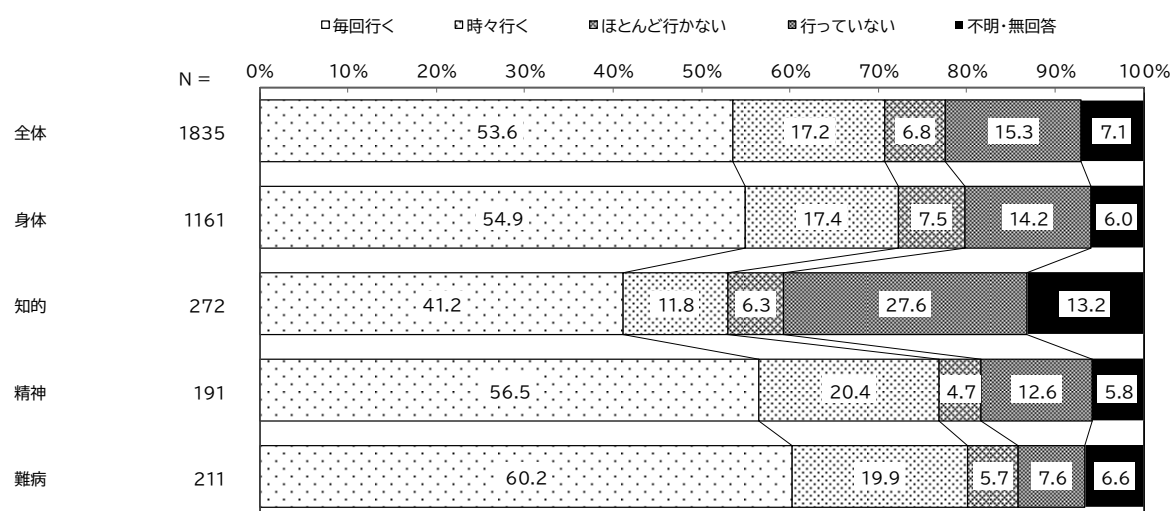
○全体では、1,835 件のうち、「毎回行く」が 53.6%と最も多く、次いで「時々行く」が 17.2%となっています。

○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「毎回行く」が 54.9%と最も多く、次いで「時々行く」が 17.4%となっています。

○知的障害のかたは、272 件のうち、「毎回行く」が 41.2%と最も多く、次いで「行っていない」が 27.6%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「毎回行く」が 56.5%と最も多く、次いで「時々行く」が 20.4%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「毎回行く」が 60.2%と最も多く、次いで「時々行く」が 19.9%となっています。



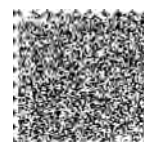
—クロス集計—（選挙の投票×年齢）

<身体障害>

身体			全 体	選挙の投票				
				毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	不明・無回答
年 齢	0～17歳	件 %	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	18～29歳	件 %	51 100.0	15 29.4	13 25.5	3 5.9	20 39.2	- -
	30～39歳	件 %	67 100.0	39 58.2	11 16.4	4 6.0	12 17.9	1 1.5
	40～49歳	件 %	146 100.0	81 55.5	33 22.6	9 6.2	20 13.7	3 2.1
	50～59歳	件 %	307 100.0	186 60.6	56 18.2	19 6.2	40 13.0	6 2.0
	60～69歳	件 %	230 100.0	128 55.7	40 17.4	25 10.9	28 12.2	9 3.9
	70～79歳	件 %	147 100.0	82 55.8	23 15.6	10 6.8	27 18.4	5 3.4
	80歳以上	件 %	163 100.0	102 62.6	22 13.5	13 8.0	15 9.2	11 6.7

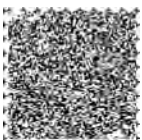
<精神障害>

精神			全 体	選挙の投票				
				毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	不明・無回答
年 齢	0～17歳	件 %	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	18～29歳	件 %	25 100.0	15 60.0	7 28.0	- -	3 12.0	- -
	30～39歳	件 %	50 100.0	28 56.0	11 22.0	2 4.0	9 18.0	- -
	40～49歳	件 %	41 100.0	26 63.4	6 14.6	1 2.4	7 17.1	1 2.4
	50～59歳	件 %	50 100.0	33 66.0	9 18.0	3 6.0	2 4.0	3 6.0
	60～69歳	件 %	20 100.0	5 25.0	5 25.0	2 10.0	3 15.0	5 25.0
	70～79歳	件 %	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3
	80歳以上	件 %	- -	- -	- -	- -	- -	- -



<難病>

難病			全 体	選挙の投票				
				毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	不明・無回答
年 齢	0～17歳	件 %	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -
	18～29歳	件 %	13 100.0	7 53.8	3 23.1	2 15.4	- -	1 7.7
	30～39歳	件 %	31 100.0	19 61.3	9 29.0	1 3.2	2 6.5	- -
	40～49歳	件 %	49 100.0	32 65.3	7 14.3	2 4.1	6 12.2	2 4.1
	50～59歳	件 %	49 100.0	27 55.1	15 30.6	3 6.1	3 6.1	1 2.0
	60～69歳	件 %	37 100.0	27 73.0	5 13.5	2 5.4	1 2.7	2 5.4
	70～79歳	件 %	16 100.0	7 43.8	2 12.5	- -	3 18.8	4 25.0
	80歳以上	件 %	6 100.0	3 50.0	- -	2 33.3	- -	1 16.7



問 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。(複数回答可)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

- 全体では、405 件のうち、「選挙に関心がない」が 39.5%と最も多く、次いで「自分で記入することができない」が 27.2%となっています。
- 身体障害のかたは、252 件のうち、「選挙に関心がない」が 34.5%と最も多く、次いで自分で記入することができない」が 26.2%となっています。
- 知的障害のかたは、92 件のうち、「自分で記入することができない」が 42.4%と最も多く、次いで「選挙に関心がない」が 41.3%となっています。
- 精神障害のかたは、33 件のうち、「選挙に関心がない」が 60.6%と最も多く、次いで「選挙や候補者に関する情報が得られない」が 21.2%となっています。
- 難病のかたは、28 件のうち、「選挙に関心がない」が 53.6%と最も多く、次いで「投票所に行くための移動を介助する人がいない」が 17.9%となっています。

		全 体	選挙に行かない理由					
			選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入することができない	その他
全 体		件 405	160	58	55	21	110	78
		% 100.0	39.5	14.3	13.6	5.2	27.2	19.3
調査票種別	身体	件 252	87	47	33	17	66	55
		% 100.0	34.5	18.7	13.1	6.7	26.2	21.8
	知的	件 92	38	-	12	1	39	15
		% 100.0	41.3	-	13.0	1.1	42.4	16.3
	精神	件 33	20	6	7	1	4	3
		% 100.0	60.6	18.2	21.2	3.0	12.1	9.1
	難病	件 28	15	5	3	2	1	5
		% 100.0	53.6	17.9	10.7	7.1	3.6	17.9

【下表へ続く】

		全 体	
			不明・無回答
全 体		件 405	26
		% 100.0	6.4
調査票種別	身体	件 252	19
		% 100.0	7.5
	知的	件 92	7
		% 100.0	7.6
	精神	件 33	-
		% 100.0	-
	難病	件 28	-
		% 100.0	-

※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。



―クロス集計―（選挙に行かない理由×年齢）

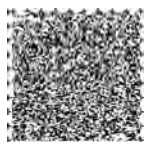
<身体障害>

身体		全 体	選挙に行かない理由					
			選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入することができない	その他
年 齢	0～17歳	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	件 23	5	3	3	-	12	7
		% 100.0	21.7	13.0	13.0	-	52.2	30.4
	30～39歳	件 16	6	-	1	1	9	4
		% 100.0	37.5	-	6.3	6.3	56.3	25.0
	40～49歳	件 29	11	1	5	1	8	9
		% 100.0	37.9	3.4	17.2	3.4	27.6	31.0
	50～59歳	件 59	26	7	6	4	16	10
		% 100.0	44.1	11.9	10.2	6.8	27.1	16.9
	60～69歳	件 53	19	15	8	1	5	13
		% 100.0	35.8	28.3	15.1	1.9	9.4	24.5
	70～79歳	件 37	13	7	3	4	11	7
		% 100.0	35.1	18.9	8.1	10.8	29.7	18.9
	80歳以上	件 28	5	13	5	5	4	5
		% 100.0	17.9	46.4	17.9	17.9	14.3	17.9

【下表へ続く】

身体		全 体	不明・無回答
年 齢	0～17歳	-	-
	18～29歳	件 23	1
		% 100.0	4.3
	30～39歳	件 16	-
		% 100.0	-
	40～49歳	件 29	1
		% 100.0	3.4
	50～59歳	件 59	4
		% 100.0	6.8
	60～69歳	件 53	5
		% 100.0	9.4
	70～79歳	件 37	3
		% 100.0	8.1
	80歳以上	件 28	3
		% 100.0	10.7

※複数回答可として扱ったため、各選択肢の回答比率の合計は100%を超える値となる場合があります。



<精神障害>

精神			全 体	選挙に行かない理由					
				選挙に関心がな い	投票所に行くた めの移動を介助 する人がいない	選挙や候補者に 関する情報が得 られない	投票所がバリア フリーでない	自分で記入する ことができない	その他
年 齢	0～17歳		-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	件 %	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
	30～39歳	件 %	11 100.0	9 81.8	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1
	40～49歳	件 %	8 100.0	4 50.0	-	3 37.5	-	1 12.5	1 12.5
	50～59歳	件 %	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-	1 20.0
	60～69歳	件 %	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-
	70～79歳	件 %	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
	80歳以上		-	-	-	-	-	-	-

※複数回答可として扱ったため、各選択肢の回答比率の合計は100%を超える値となる場合があります。

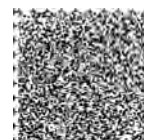
※回答者数が少ないため、図は参考程度となります。

<難病>

難病			全 体	選挙に行かない理由					
				選挙に関心がな い	投票所に行くた めの移動を介助 する人がいない	選挙や候補者に 関する情報が得 られない	投票所がバリア フリーでない	自分で記入する ことができない	その他
年 齢	0～17歳	件 %	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
	18～29歳	件 %	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0
	30～39歳	件 %	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-
	40～49歳	件 %	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5
	50～59歳	件 %	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-
	60～69歳	件 %	3 100.0	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-
	70～79歳	件 %	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7
	80歳以上	件 %	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-

※複数回答可として扱ったため、各選択肢の回答比率の合計は100%を超える値となる場合があります。

※回答者数が少ないため、図は参考程度となります。



問 選挙の際に困ったことについてご記入ください。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

○具体的には、下記のような回答がありました。

- ・麻痺があり、手で紙を押さえられないため記入が困難。文鎮やすべり止め効果のある下敷きがあるとありがたい。
- ・会場が遠く、投票所に駐車場がない。
- ・介助者が必要などの理由で投票に行けないため、ポストでの投函を可能にするか、インターネットでの投票を可能にしてほしい。
- ・入口にスロープがあるものの勾配が急すぎる。
- ・点字版が用意されるまでにとても時間がかかる。
- ・記入票や掲示されている候補者名の文字が小さすぎるなど障害者に対する配慮が足りていないように感じる。
- ・介助者として家族に付き添ってもらったところ注意された。障害があることを説明しても理解してもらえず悔しい思いをした。

